

計画の名称	災害に強く市民の安全・安心を支える道づくり												
計画の期間	平成30年度～令和04年度(5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	福岡市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、市民の震災等の災害に対する危機感や関心が高まってきているなかで、道路や橋梁等の老朽化が進んでおり、効率的かつ効果的な維持管理が求められている。また、道路照明灯についても老朽化が進んでおり、劣化による倒壊事故や照度低下による危険性の高まりから、改善が求められている。 ・福岡市では、路面性状調査を実施しながら舗装の損傷を適確に判断し、計画的な修繕を実施することで安全で信頼の高い道路空間の確保を図るとともに、緊急輸送道路等の橋梁耐震化や道路照明灯のLED化を推進し、災害に強く安全性の高い道路空間の形成を図る。 												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	16,271	A	16,271	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	(H32末)	(H34末)
1	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路における要修繕延長の修繕割合 要修繕延長比率(幹線道路)を算出する。 要修繕延長比率(%) = (対策済み要修繕延長) / (要素事業の要修繕総延長) × 100	0%	58%	100%
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路における要修繕延長の修繕割合 要修繕延長比率(生活道路)を算出する。 要修繕延長比率(%) = (対策済み要修繕延長) / (要素事業の要修繕総延長) × 100	0%	57%	100%
3	<ul style="list-style-type: none"> ・診断予定橋梁数の実施割合 橋梁診断の実施率を算出する。 橋梁診断の実施率(%) = (診断済み橋梁数) / (要素事業の診断予定総橋梁数) × 100	0%	100%	100%
4	<ul style="list-style-type: none"> ・LED化推進事業対象基数の整備割合 LED化整備率を算出する。 整備計画達成率(%) = (整備済み基数) / (要素事業の計画整備基数) × 100	0%	60%	100%
5	<ul style="list-style-type: none"> ・要修繕大規模施設の修繕割合(ボックスカルバート) 要修繕大規模施設(ボックスカルバート)の修繕率を算出する。 要修繕大規模施設の修繕率(%) = (修繕済み施設数) / (要素事業の要修繕予定総施設数) × 100	0%	0%	100%
6	<ul style="list-style-type: none"> ・要修繕大規模施設の修繕割合(アンダーパス) 要修繕大規模施設(アンダーパス)の修繕率を算出する。 要修繕大規模施設の修繕率(%) = (修繕済み施設数) / (要素事業の要修繕予定総施設数) × 100	0%	0%	100%

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	248	167	547	248	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	248	167	547	248	
前年度からの繰越額 (d)	27	51	38	426	
支払済額 (e)	224	180	159	509	
翌年度繰越額 (f)	51	38	426	165	
うち未契約繰越額(g)	45	0	421	99	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	16.36	0	71.96	14.68	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	追加補正によるもの		追加補正によるもの	追加補正によるもの	